

**製品名: AI-BP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06696**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APOA1BP
別名	APOA1BP; AIBP; YJEFN1; NAD(P)H-hydrate epimerase; Apolipoprotein A-I-binding protein; AI-BP; NAD(P)HX epimerase; YjeF N-terminal domain-containing protein 1; YjeF_N1
遺伝子 ID	128240.0
SwissProt ID	Q8NCW5
免疫原	抗血清はヒト AIBP 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 121-170

**背景**

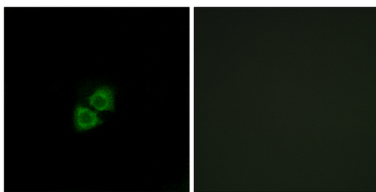
この遺伝子産物は、高密度リポタンパク質 (HDL) の主要アポリポタンパク質であるアポリポタンパク質 A-I (アポ A-I) と相互作用

する。アポ A-I は一部の体液中に分泌され、in vitro では細胞をアポ A-I とインキュベートすることでその合成と分泌が促進される。ヒトゲノムには関連する擬似遺伝子が存在する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],類似性: YjeF N 末端ドメインを 1 つ含む。サブユニット: APOA1 および APOA2 と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現し、腎臓、心臓、肝臓で最も高いレベルで発現する。脳脊髄液および尿中には存在するが、健康患者の血清中には存在しない。敗血症患者の血清中には存在する (タンパク質レベル)。

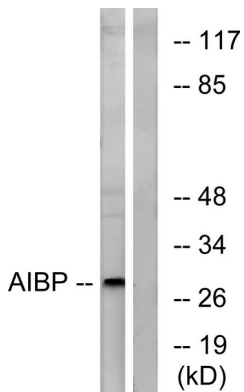
## 研究分野

-

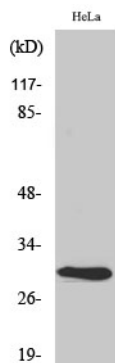
## 画像データ



AIBP 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AIBP 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AI-BP ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。